

平成30年度 図書館利用者と館長との懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

【対応状況・凡例】

- ◎ 現在対応済みの項目
- 早急に対応を行う項目
- 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目
- － 対応が困難な項目

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	図書館でイベントなど様々な事業をしているが、まず蔵書の充実、図書に詳しい職員の配置を最優先すべきではないか。また、図書館でなぜ、こんなにたくさんの事業を実施しなければならないのか疑問である。職員には本のことに詳しくなってほしいが、事業の準備等に時間をとられているのではないかと心配に思っている。	蔵書の充実の基本業務であり当然のことと認識しています。一方で、図書館は社会教育施設であり、地域図書館として読書推進に加えて地域課題解決のための事業を行うことも大切な役割だと考えています。また、事業の準備に時間を取られていることはありません。	◎
2	学校への支援や働きかけをもっとしてほしい。管理員へももっと働きかけの機会を持ってほしい。	図書館員が学校訪問を行って、意見等を聴く機会を設けています。	◎
3	読書活動ノートについての提案があったが、子供たちに対して、こんなところに行ったらよいというヒントだけでは学習が深まらない。何をすれば良いのかももっと細かく深く考えていく必要があり、指示指導がほしい。	提案した読書活動ノートは、生涯学習パスポートと読書ノートを合わせ備え、子供たちの「生きる力（自ら考え行動し課題解決を図れる能力）」を育むために、読書と体験活動等を相互に結び付けるものです。子供自身がこのノートを通して、「自ら考える」ことが大事だと考えています。例えば、消費生活に関係することを本で学んだのであれば消費生活センターで詳しく話を聴くなどして課題を発見し、自らが解決策を見出すことを期待しています。施設職員を含めて地域の人たちは子供たちの活動のサポートを、図書館員は調べ学習のサポートをすれば良いと考えています。	□

4	おはなし会をすることによって、会を重ねるごとに子供の聞く力が養われる。学校でのおはなし会の回数を増やすアピールをすることは、地域のつながりとしてできないか。	団体としてアピールすることは良いことだと思います。	<input type="checkbox"/>
5	図書館に来ない子供、興味のない子供に対するケアを充実させてほしい。野球が好きな子に野球の本を薦めるなど、その子に合ったきめ細かい働きかけをしてほしい。図書館に行くきっかけになる。	さまざまな体験や活動から、読書活動につなげていくのは、生活の中で身近な存在である保護者や学校であると考えています。	<input checked="" type="radio"/>
6	よみかせ用の本を石神井図書館の本棚で探す時に、これはといった本が棚になく、予約で取寄せることになってしまうことがある。蔵書を充実させてほしい。	絵本コーナーの蔵書の充実を図っていますが、人気の高い絵本などは、「貸出し中」となっている場合が多いと思います。早めのご相談と予約をお願いします。	<input checked="" type="radio"/>
7	図書館のボランティアコーディネーターに期待もしているが、ボランティア同士も横のつながりを持つと良いと思う。図書館は区立施設としての制約があるが、ボランティア同士は制約がない。ボランティアの鋭敏な感性を生かしたい。	ご意見のとおりです。	<input type="checkbox"/>
8	ねりまの昔話を紙芝居で作る企画について、昔話は何話ぐらいあるのか。	石神井公園ふるさと文化館で発行した「ねりまの昔話」という本が地域資料コーナーにあります。昔話は28話掲載しています。	<input checked="" type="radio"/>
9	一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯への本の宅配サービス等のアイデアは良いと思う。包括支援センターでもお弁当配食サービス、お困りごと伺いのサービスを行っている。協働できればと思う。	個人的な事業提案で実現にはハードルが高いと考えています。現在、外出困難な要介護高齢者および障害者に対しては郵送サービスがありますが、ひきこもりや一人暮らし高齢者で何かしら生活上の困難を抱えている方はとても多いです。読書活動は健康寿命と深く関係していますので、介護予防的な効果と見守りを兼ねたサービスとして、図書館の宅配サービスを福祉分野でも検討していただければと思います。	<input type="checkbox"/>

10	提案事業が多数あるが、人員の確保が難しいのではないかな。	提案した事業は図書館として検討しているものではありません。読書活動の効果などから地域図書館の役割を考えると、このような事業が考えられるのではないかといたったものです。実現に向けては、ボランティアの育成も含めて、地域の方々や団体などとの協働により行うことが必要だと考えています。	<input type="checkbox"/>
11	指定管理化の計画がある中で、提案事業のようなことを実施していけるのか。	地域図書館の役割として具体的な事業例として提案したものです。	<input type="checkbox"/>
12	団体のメンバー募集のポスターを貼ってほしい。	石神井図書館では地域活動支援のための掲示コーナーを設けています。ぜひ、ご活用ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
13	青少年コーナーは狭く、場所が悪い。狭いなら狭いで、児童室の中にあつた方がよい。児童室に馴染んだ子供が次に青少年コーナーの本を手取るのに、一般コーナーの一角では手取りにくい。	青少年に対する読書支援は大変重要だと認識しておりますが、現行の児童室のレイアウトでは青少年コーナーを移動することは困難と考えています。	<input type="checkbox"/>
14	勤労者・青少年へのサービスは忘れられがちなので意識して取り組んでほしい。事業と本との関連はどうなっているか。資料の収集の独自性ということでは、地域資料が重要だと思うが、郷土資料だけではなく、現在の石神井地域の情報という視点での収集もお願いしたい。また、SNS等の新しいことも活用してほしい。	勤労者・青少年に対しては就労支援、キャリア教育支援等課題に応じた蔵書の充実や事業等取り組んでまいります。また、事業開催の折にはパスファインダーの作成など図書資料との関連づけを行います。 地域資料の収集については、図書資料だけでなく、地域活動やイベント情報についても収集提供に努めていますが、SNS等を活用した情報発信については今後検討していきます。	<input type="checkbox"/>
15	高齢者訪問（図書の宅配サービス）はぜひ実施してほしい。	地域包括ケアシステムの中に、高齢者訪問を兼ね備えた図書サービスを入れることは全国にも数例しかありません。地域図書館の役割として考えられる事業案としてお示ししたものに過ぎないため、今後、福祉分野も含めて、組織として十分な検討が必要だと考えています。	<input type="checkbox"/>